

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果(尾鷲市)と今後の取組について

令和4年9月21日
尾鷲市教育委員会

令和4年度全国学力・学習状況調査が、4月19日(火)に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施され、その結果が7月末に公表されました。

尾鷲市教育委員会では、本市における児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果、今後の取組について以下の通りまとめました。

1 調査概要

(1) 目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握、分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 実施日 令和4年4月19日(火)

(3) 調査実施人数 小学校6年生 95人、 中学校3年生 114人

(4) 調査内容

① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査〔国語、算数・数学、理科〕

下記の2点について一体的に問う問題

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

② 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

2 調査結果の取扱いに関する配慮事項（実施要項抜粋）

調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。

調査結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である。一方、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

3 教科の調査結果概要

学力調査の問題は毎年異なることから、平均正答率は問題の難易度により毎年変化し、年度間の平均正答率による単純な比較はできません。

そこで本市では、文部科学省から配布されている「標準化得点換算ツール」を使用して、その年の全国平均正答数を100とした場合の本市における得点状況を算出しております。そうすることで、全国的な状況との関係について年度間の変化を経年で比較することができます。H29年度～H31(R1)年度に小学校6年生で受験した子どもたちが、それぞれR2年度～R4年度の中学校3年生で受験していることから、経年変化だけでなく、その学年の子どもたちの変容を把握することも可能です。

令和4年度全国学力学習状況調査結果より（標準化得点経年変化）

	小学校調査					中学校調査					
	国語		算数		理科	国語		数学		理科	英語
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)		A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)		
全国	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
R4	93		94		94	96		98		98	
R3	96		98			96		96			
R2											
R1	97		97			97		97			97
H30	96	95	94	94	94	98	97	98	97	96	
H29	96	96	94	95		97	99	99	98		
H28	100	98	99	98		96	96	97	97		

小学校では、いずれの教科も全国平均正答率を下回っています。

中学校では、いずれの教科も全国平均正答率を上回ることができませんでしたが、小学校6年生当時（R1年）と比べ、数学において改善傾向がみられます。

引き続き、課題を分析し、定着を図るための取組を進めていく必要があります。

4 各教科に関する調査結果の分析

小学校国語（◇強み ◆弱み）

- ◇ 文章の中の「はんせい」を、漢字を使って書き直す問題では、全国平均正答率を上回っています。
- ◆ 人物像や物語の全体像を具体的に想像することに課題があります。
- ◆ 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える問題では、全国平均正答率を20ポイント以上下回っています。
- ◆ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える問題、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける問題では、全国平均正答率を20ポイント以上下回っています。
- ◆ 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題があります。

<課題が見られた具体的な設問例>

1 地域のためにできることについて話し合う(公園の美化)

二【言葉の特徴や使い方に関する事項】

【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する問題

1

岡さんの学級では、地域ののためにできることについて話し合うことになりました。岡さんのグループでは、学校の近くにある公園をきれいにすることについて話し合っています。次は、そのときの【話し合いの様子の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

岡さん 学校の近くの公園は、広くて遊具があり、一年生のころから遊んでいる場所です。私は、今まで使ってきた公園を自分たちできれいにすることで、もっとたくさんの人に気持ちよく使ってもらえるようにしたいです。私自身、どうすればよいか考えているところですが、みなさんはどんなアイデアがありますか。

谷原さん 私は、公園に行くとき、おかしなふくろやペットボトルがいつも落ちていたことが気になります。そこで、ごみを拾うきかがあると思います。ア 「きれい」というのは、ロボットのことでなく、活動する時間のことです。

山下さん 公園のごみを拾うことは、すぐにできるのでよいと思います。でも、続けることは難しい気がします。私は、この公園には花が少ないので、許可をもらって、もっとたくさんのお花を植えれば、はなやかな感じになると思います。

谷原さん 確かに、山下さんの言うとおり、花を植えることは私たちにもできるし、はなやかになり、よいと思います。ただ、こまめに公園へ行って花の水やりなどの世話を続けることも難しそうですね。

山下さん その点については、もう少し考えていきたいと思っています。

前田さん 私は、公園の遊具のペンキをぬり直したいと思っています。

中村さん ウのように、公園の遊具のペンキをぬり直すことが必要なのですか。

前田さん 公園のすべり台やジャングルジムは、できてから時間がたっていて、どれも暗い感じがします。そこで、自分たちだけでできるかどうかは気になりますが、明るい感じにするために赤色や黄色のペンキで、ぜひぬり直したいと思っています。

中村さん なるほど、いいアイデアですね。ペンキをぬり直して明るくすると、公園がきれいになるということですね。

岡さん こうして、みなさんの話を聞いてみると、どれも公園をきれいにするためのアイデアですね。

中村さん 今までの話し合いで出たアイデアについて、よい点と問題点に分けて「メモ」をしてみました。

岡さん 私は、公園が明るくなるので、ペンキをぬり直すことがよいと考えました。できるかどうかは分からないという問題点については、公園を管理している人や家の人に相談するとよいと思います。

みなさんのアイデアや「メモ」から、取り組みやすいという理由で、私は、

△ (話し合いが続く) △

アイデア	よい点	問題点
ごみ拾い	○ごみがなくなる	△続けることがむずかしい
花植え	○はなやかになる	△世話を続けることがむずかしい
ペンキぬり	○明るくなる	△できるかどうかは分からない

二 【話し合いの様子の一部】で、谷原さんや中村さんが、——部イや、——部エのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 友達の意見に質問し、みんなの意見を一つにまとめるため。
- 2 友達の意見に質問し、認め合いながら話を進めるため。
- 3 友達の意見のよさを伝え、みんなの意見を一つにまとめるため。
- 4 友達の意見のよさを伝え、認め合いながら話を進めるため。

(正答) 4

③ 経験したことを基に考えたことを書く(六年生としてがんばりたいこと)

二【書くこと】 【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く問題

③ 島谷さんの学級では、「六年生としてがんばりたいこと」を書くことにしました。次は、島谷さんが最初に書いた【文章1】と【文章2】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章2】
わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。
そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思っただからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をア^アろくがして、各学級にしようかいしたそうです。
この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをイ^イはんせいました。
わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もウ^ウしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

【文章1】
わたしは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をろくがして、各学級にしようかいしたという活動がすばらしいと思いました。
この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせいました。
わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

二 島谷さんは、川口さんと【文章2】を読み合い、感想を伝え合いました。次の【伝え合いの様子の一部】をよく読み、あとの問いに答えましょう。

(問い) 島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【文章2】のよさを書くこと。
- 【文章2】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

(正答例)

- ・ わたしの文章のよさは、自分の経験したことをもとに書いたところです。五年生の時のさいばい委員会での自分の活動をもとに六年生で取り組みたいことを書くことで、がんばりたいという思いを伝えることができました。
- ・ わたしの文章のよさは、最初のだん落で「この一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです」と書くことで、読む人に六年生としての決意を伝えようとしたところです。
- ・ 最後のだん落に「運動が苦手な人にも親しんでもらえるように、ルールや道具をくふうしたおに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたい」と、一年間でがんばりたいことを具体的に書いたところが文章のよさです。
- ・ わたしの文章のよさは、今年がんばりたいことを伝えるために、南さんの話や、さいばい委員の活動で反省したことを書いたり、運動委員として進めたい新たな活動を、最後のだん落に具体的に書いたりしたところです。

【伝え合いの様子の一部】

島谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。
川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことをもとにしているからだね。
島谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。
川口さん 最後の段落がいいね。なぜかという、最初の段落の内容をより具体的に書いてあるから、今年がんばろうとしていいることがくわしく伝わってきたよ。
島谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。
〽 (伝え合いが続く) 〽

小学校算数（◇強み ◆弱み）

- ◇ 被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができます。
- ◆ 図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について考察する問題では全国平均正答率を20ポイント以上下回っています。
- ◆ 数量が変わっても割合は変わらないことを理解していることに課題があります。
- ◆ 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述する問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察する問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察することに課題があります。

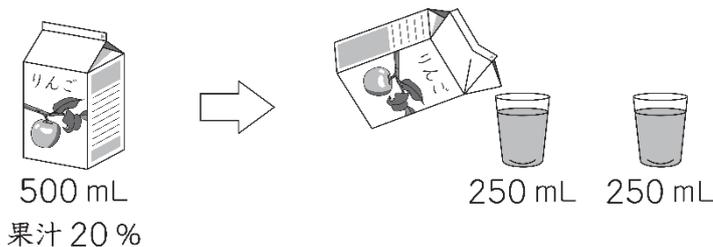
<課題が見られた具体的な設問例>

2 二つの数量の関係について考察すること(果汁の割合)

(3) 【変化と関係】果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの果汁の割合について正しいものを選ぶ問題

2 ^{かじゅう}果汁入りの飲み物について考えます。

- (3) りんごの果汁が20%含まれている飲み物が500mLあります。
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。



250mL の飲み物にふくまれている果汁の割合について、つぎのようにまとめます。

250mL は、500mL の $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

ア

上のア)に当てはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

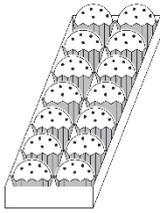
- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は 2 倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

(正答) 3

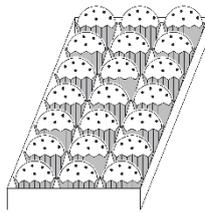
1 目的に応じて数量の関係に着目し数の処理の仕方を考察すること(買い物)

(4) 【数と計算】 85×21 の答えが 1470 より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ問題

1 カップケーキが、下のように売られています。1箱 14 個入りで 1050 円の A セットと、1箱 21 個入りで 1470 円の B セットがあります。



A セット (14 個入り)
1050 円



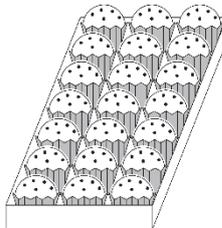
B セット (21 個入り)
1470 円

(4) カップケーキが 1 個入り 85 円でも売られています。

くるみさんは、1 個入り 85 円のカップケーキ 21 個分の値段と、B セット 1 箱分の値段である 1470 円を比べることにしました。



1 個入り
85 円



B セット (21 個入り)
1470 円

1 個入り 85 円のカップケーキ 21 個分の値段は、 85×21 で求めることができます。



85×21 の答えが 1470 より必ず大きくなることは、 85×21 をそのまま計算せずに、 85 と 21 をがい数にして計算してもわかります。

85×21 の答えが、 1470 より必ず大きくなるのがわかるためには、「 85 」と「 21 」をどのよう
にがい数にして計算するとよいですか。

下のアからエまでの中から 1 つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 85 を小さくみて 80 、 21 を小さくみて 20 として計算します。

イ 85 を小さくみて 80 、 21 を大きくみて 30 として計算します。

ウ 85 を大きくみて 90 、 21 を小さくみて 20 として計算します。

エ 85 を大きくみて 90 、 21 を大きくみて 30 として計算します。

(正答) ア

小学校理科（◇強み ◆弱み）

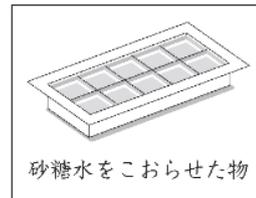
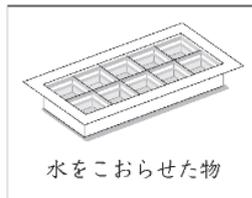
- ◇ 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができます。
- ◆ 自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述する問題では、全国平均正答率を20ポイント以上下回っています。
- ◆ メスシリンダーという器具を理解していることに課題があります。
- ◆ 日光は直進することを理解していることに課題があります。
- ◆ 実験や観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつ問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。

<課題が見られた具体的な設問例>

2 粒子に関する問題

(1) 一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く問題

- 2 たろうさんたちは、紅茶を冷やしたり、あまくしたりして飲むために、水と砂糖水を冷とう庫でおおらせることにしました。



水が先にこおって、砂糖水は、こおるのに時間がかかったよ。砂糖水は、水よりこおる温度が低いのかな。調べてみたいな。



砂糖水だけでなく、食塩水も調べてみたいね。

たろうさんたちは、【問題】を見つけたので、調べることにしました。

【問題】

砂糖水や食塩水がすべてこおる温度は、水がすべてこおる温度より低いのだろうか。



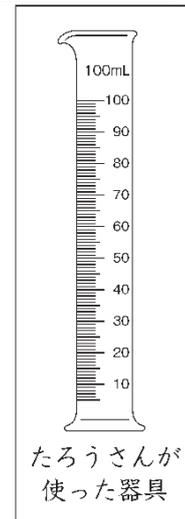
砂糖水や食塩水は、こおるのが水の部分だから、砂糖水も食塩水も水と同じ0℃で、すべてこおると思うよ。



実験してみよう。

- (1) たろうさんは、実験で使用する砂糖水と食塩水をつくるために、水 50mL を右のような器具を使ってはかりとることにしました。たろうさんが使った器具の名前を書きましょう。

(正答) メスシリンダー



1 粒子に関する問題

(2) 自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く問題

- 1 ひろしさんたちは、ナナホシテントウのたまごを見つけました。
ひろしさんは、次のような【問題】を解決するために、ナナホシテントウを飼育しながら観察し、ようすが変化したときに、タブレット型端末に記録していくことにしました。

〈ひろしさんの記録〉

【問題】

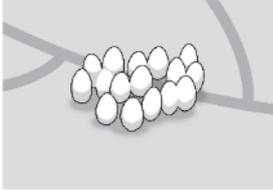
「ナナホシテントウの育ち方は、どのような順なのだろうか。」



ひろしさん

ナナホシテントウの観察

5月16日 晴れ 23℃

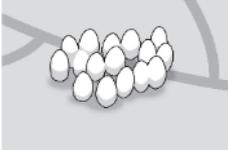


- ・葉の裏にたまごがある。
- ・たまごは、まとまっていて、黄色で、大きさは1mmぐらい。
- ・たまごは、細長い形をしている。

ひろしさんは、【問題】をもとに、飼育しているナナホシテントウの観察の記録を整理しました。
〈ひろしさんが記録を整理したもの〉

【問題】
ナナホシテントウの育ち方は、どのような順なのだろうか。

5月16日



大きさが
1mmのたまご

→

5月19日



大きさが
2mmの幼虫

5月28日



大きさが
9mmの幼虫

→

6月8日



大きさが
8mmの成虫

ひろしさんは、記録を整理したものをもとに、【問題】「ナナホシテントウの育ち方は、どのような順なのだろうか。」に対するまとめを書きました。



ひろしさん

【問題に対するまとめ】

ナナホシテントウの育ち方は、たまご、ようちゅう 幼虫、せいちゅう 成虫の順である。

しかし、同じナナホシテントウを観察していたあきらはさんは、〈ひろしさんが記録を整理したもの〉がじゅうぶんではないことに気づきました。

6月4日にも観察しているので、この記録も参考にしてみてください。

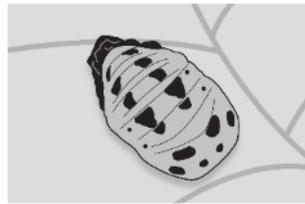


あきらさん

〈あきらさんの記録〉

ナナホシテントウの観察

6月4日 晴れ 26℃



- ・すがたが変わり、動かない。
- ・アブラムシは食べていないようだ。
- ・さなぎになった。

(2) 〈ひろしさんが記録を整理したもの〉に、〈あきらさんの記録〉を加えます。ふさわしいまとめになるように、上のひろしさんの【問題に対するまとめ】を書き直しましょう。

(正答例) ナナホシテントウの育ち方は、たまご、幼虫、さなぎ、成虫の順である。

中学校国語（◇強み ◆弱み）

- ◇ 漢字の行書の読みやすい書き方について理解することは、概ねできています。
- ◆ 行書の特徴を理解することに課題があります。
- ◆ 論理の展開などに注意して聞く問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 事象や行為、心情を表す語句について理解する問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。

<課題が見られた具体的な設問例>

4 書写

一【我が国の言語文化に関する事項】

行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する問題

漢字については青山さんの言うとおりますが、ひらがなの「と」についても課題がありそうですね



先生

全体的に行書の特徴を踏まえて書くことができていると思います。ただ、漢字のバランスが悪いような気がします。先生、どうでしょうか。



青山さん

行書の点画の書き方に気を付けて書いてみましたが、どうでしょうか。



竹内さん

【友達や先生からの助言】



【最初に書いた文字】

4 竹内さんは、行書で「夢と希望」という文字を書いていきます。次の【最初に書いた文字】、【友達や先生からの助言】、【書き直した文字】を読んで、あとの問いに答えなさい。

一【最初に書いた文字】について、青山さんは「行書の特徴を踏まえて書くことができている」と述べていますが、その具体的な内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- ㉠の部分は、筆順の変化に気を付けて書くことができている。
- ㉡の部分は、楷書と同様に点画を直線的に書くことができている。
- ㉢の部分は、点画を省略して書くことができている。
- ㉣の部分は、点画を連続して書くことができている。

(正答) 1



【書き直した文字】

1 スピーチをする（「最近気になったこと」）

三 【言葉の特徴や使い方に関する事項《話し言葉と書き言葉》】 【話すこと・聞くこと】
スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く問題

1 川口さんは、国語の時間に、最近気になったことについてスピーチをする学習に取り組んでいます。川口さんは、動画に自分のスピーチを記録し、それを田中さんに見せて助言をもらっています。次の【川口さんのスピーチ】と【二人の会話の一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【川口さんのスピーチ】

【二人の会話の一部】

最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます。その変化は、学校での学習にも表れていると思います。例えば、授業でインターネットを活用する機会が増えました。特に、オンラインで離れた場所にいる人と会話することもできて、その便利さを実感しています。一方で、相手と直接会っていないので、やりとりをスムーズに行いにくいという面もあるのではないかと思います。

先日、総合的な学習の時間で、離れた場所にいる施設の方にオンラインでインタビュウをしたことです。私は、画面を通してやりとりをしているという状況に気を取られて、相手に必要最小限のことを伝えるだけで精一杯になってしまいました。そのため、相手の反応を踏まえたやりとりをすることができていないと感じました。後日、そのことを友達に話したところ、「私は、相手の言ったことに対して相づちを打つように気を付けていました。」と話してくれました。

この言葉を聞いてはっとしました。オンラインであっても、相手が話したことに相づちを打ったり、相手の話を受けてさらに質問をしたりするように意識することが大事だったのです。これからは、オンラインで人と話すときにも、このことに気を付けて、相手とのやりとりをスムーズに行えるようにしたいと思います。

動画を止める

動画を止める

動画を止める

田中 川口さんが伝えたい内容は分かりました。ただ、スピーチの冒頭から同じ調子で話しているのので、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などの話し方を工夫してみてください。例えば、「オンラインで離れた場所にいる人と会話すること」という部分は、伝えたい内容に関係することなので、聞き手に関心をもってもらうために、ゆっくり大きな声で話すときのように話さないでしょうか。

川口 なるほど。他の部分も話し方を工夫してみます。

川口 オンラインでインタビュウをしたことを入れてみましたが、どうでしょうか。

田中 身近な内容で共感できました。②始めに話したこととつながっている点が良いと思います。

田中 ここで動画を止めてもらえますか。「最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます。」という部分は、聞き手を引き付けるために、呼びかけたり問いかけたりする表現にしてみようでしょうか。①やりとりをスムーズに行いにくい」という部分は、私も同じように感じたことがあり、この後のスピーチの内容に興味をもつことができましたのでよいと思います。

川口 ありがとうございます。



田中さん 川口さん

三 【二人の会話の一部】に線部③「他の部分も話し方を工夫してみます。」とありますが、あなたならどの部分をどのように工夫して話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

- 条件1 【川口さんのスピーチ】のどの部分をどのように工夫して話すのかについて、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに着目して具体的に書くこと。
- 条件2 条件1のように話す意図を書くこと。

(正答例)

- 「やりとりをスムーズに行いにくいという面もある」の部分の印象を強めるために、聞いている人たちを見渡しながらか話す。
- 「オンラインであっても、相手が話したことに相づちを打ったり、相手の話を受けてさらに質問をしたりするように意識することが大事だったのです。」という部分が一番伝えたいことなので、他の部分よりも大きな声で話す。
- 私は、自分が一番伝えたいことに着目してもらうために、「この言葉を聞いてはっとしました。」のあとに少し間を取ります。
- 「相手の反応を踏まえたやりとりをすることができていない」という部分の語調を強めて、課題だと感じていることを強調したい。

中学校数学（◇強み ◆弱み）

- ◇ データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題では、全国平均正答率を上回っています。
- ◆ 自然数を素数の積で表す問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 反例の意味を理解していることに課題があります。
- ◆ 一次関数の変化の割合の意味を理解していることに課題があります。
- ◆ 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明する問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することや筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに課題があります。

<課題が見られた具体的な設問例>

1 素因数分解

【数と式】42を素因数分解する問題

1 42を素因数分解しなさい。

(正答) $2 \times 3 \times 7$
(かけ算の順序は不問。)

6 素構想を立てて説明し、統合的・発展的に考察すること（2つの偶数の和）

(3) 【数と式】ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する問題

6 康太さんは、2つの^{ぐうすう}偶数の和がどのような場合に4の倍数になるかを調べています。

$$\begin{array}{lll} 2 + 2 = 4 & 4 + 2 = 6 & 6 + 2 = 8 \\ 2 + 4 = 6 & 4 + 4 = 8 & 6 + 4 = 10 \\ 2 + 6 = 8 & 4 + 6 = 10 & 6 + 6 = 12 \end{array}$$

$2 + 2 = 4$ 、 $4 + 4 = 8$ 、 $6 + 6 = 12$ のように、同じ2つの偶数の場合、2つの偶数の和が4の倍数になっていることから、康太さんは次のように予想しました。

$4 = 4 \times 1$
 $8 = 4 \times 2$
 $12 = 4 \times 3$
3つとも4の倍数になっているね。



予想 1

同じ2つの偶数の和は、4の倍数になる。

上の予想1がいつでも成り立つことは、次のように説明できます。

説明 1

n を整数とすると、偶数は $2n$ と表される。

同じ2つの偶数の和は、

$$2n + 2n = 4n$$

n は整数だから、 $4n$ は4の倍数である。

したがって、同じ2つの偶数の和は、4の倍数になる。

康太さんは、 $2 + 6 = 8$ のように、同じ2つの偶数の和のほかにも、4の倍数になることから、さらにくわしく調べてみました。

$$\begin{aligned}2 + 6 &= 8 = 4 \times 2 \\6 + 2 &= 8 = 4 \times 2 \\10 + 14 &= 24 = 4 \times 6 \\28 + 32 &= 60 = 4 \times 15\end{aligned}$$

そして、次のように予想しました。

予想2

差が4である2つの偶数の和は、4の倍数になる。

2 + 6と6 + 2は同じとみていいから、
(小さい方の偶数) + (大きい方の偶数)
について説明すればいいね。



上の**予想2**がいつでも成り立つことを説明します。下の**説明2**を完成しなさい。

説明2

n を整数とすると、差が4である2つの偶数のうち、小さい方の偶数は $2n$ 、大きい方の偶数は $2n + 4$ と表される。

それらの和は、

$$\begin{aligned}2n + (2n + 4) \\ =\end{aligned}$$

(3) 同じ2つの偶数の和や、差が4である2つの偶数の和のほかにも、2つの偶数の和がいつでも4の倍数になることがあります。どのような2つの偶数のとき、その2つの偶数の和が4の倍数になりますか。上の**予想2**のように、「～は、……になる。」という形で書きなさい。

(正答例)

- 差が4の倍数である2つの偶数の和は、4の倍数になる。
- 差が8である2つの偶数の和は、4の倍数になる。
- 差が12である2つの偶数の和は、4の倍数になる。
- 2つの数がどちらも4の倍数である2つの偶数の和は、4の倍数になる。

中学校理科（◇強み ◆弱み）

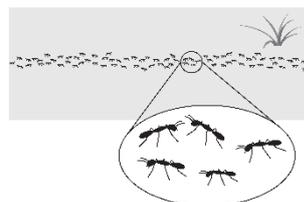
- ◇ 水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができます。
- ◇ 複数の脊椎動物の外部形態の考察を行う場面において、あしの骨格について共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、共通点と相違点を分析して解釈する問題では、全国平均正答率を上回っています。
- ◆ モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画する問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善することに課題があります。
- ◆ 考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善する問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。
- ◆ 液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用することに課題があります。
- ◆ アリの行列のつくり方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行う問題では、全国平均正答率を10ポイント以上下回っています。

<課題が見られた具体的な設問例>

8 アリの行列を科学的に探究する（「生命」を柱とする領域）

(1) アリが視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する問題

8 『ファール昆虫記』を読んで、アリの行列のつくり方に興味をもち、科学的に探究しました。



レポートの一部

【課題1】

アリは、視覚による情報をもとに行列をつくるか。

【実験1】

① 図のように行列を覆い、10分間まわりの景色を見えなくする。

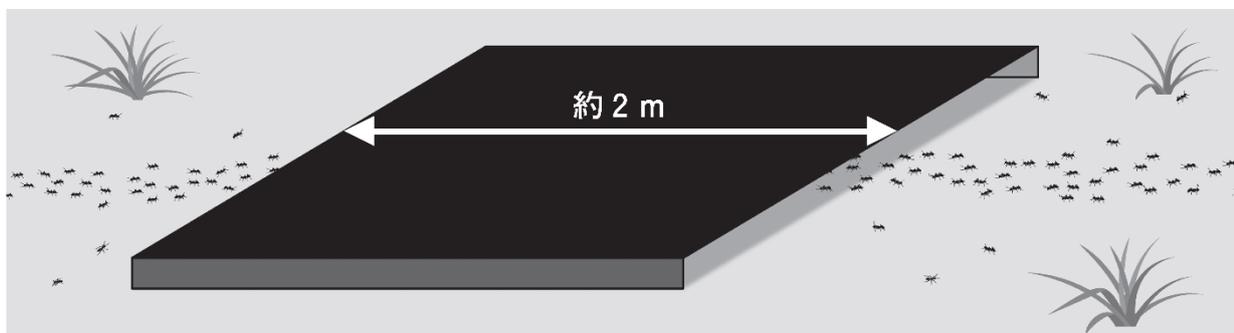
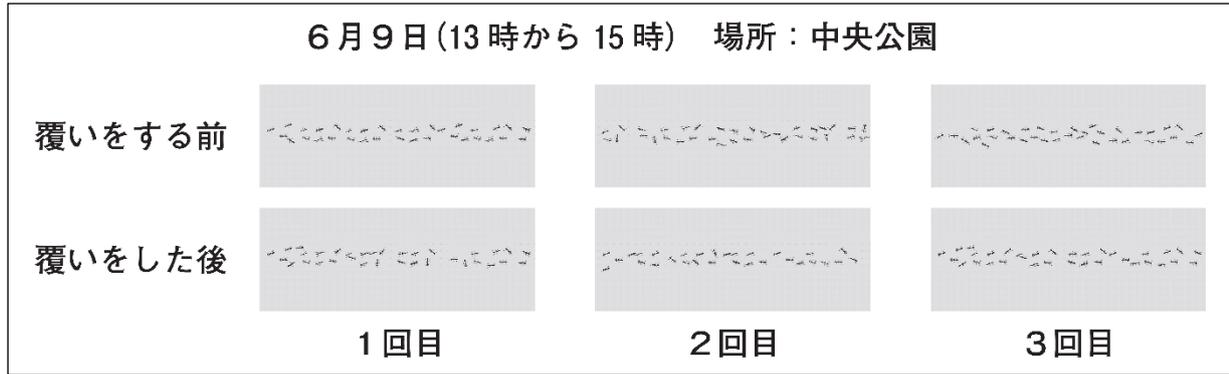


図 覆いをしたようす

- ② 覆う前後の行列のようすを写真に撮り、比較する。
- ③ ①と②の操作を別のアリの行列で3回繰り返す。

【結果 1】



【考察 1】

この実験の結果からは、アリの行列のようすは ので、 と考えられる。

(1) 、 に当てはまる適切な言葉をそれぞれ書きなさい。

(正答例)

P 「変化しない」、「変化しなかった」、「行列は変わっていない」など

Q 「視覚による情報をもとに行列をつくらない」など

6 観察から大地の変動を科学的に探究する(「地球」を柱とする領域)

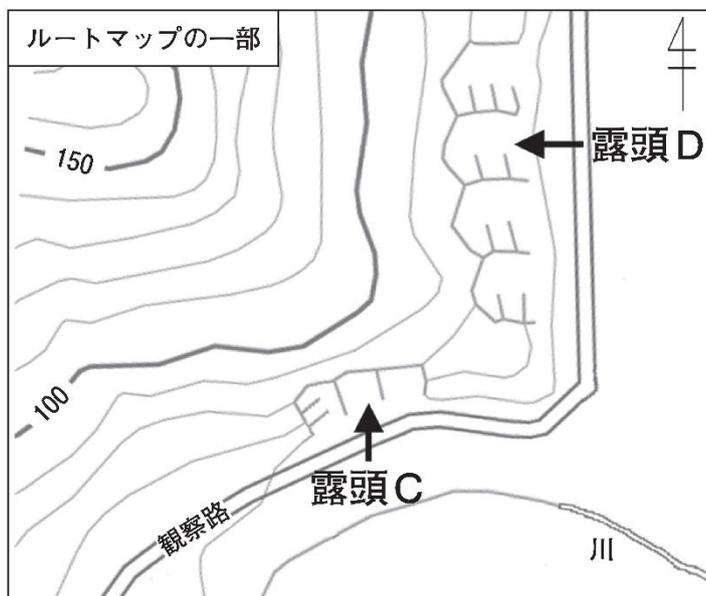
(3) 東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから、地層が傾いている向きを選択する問題

6

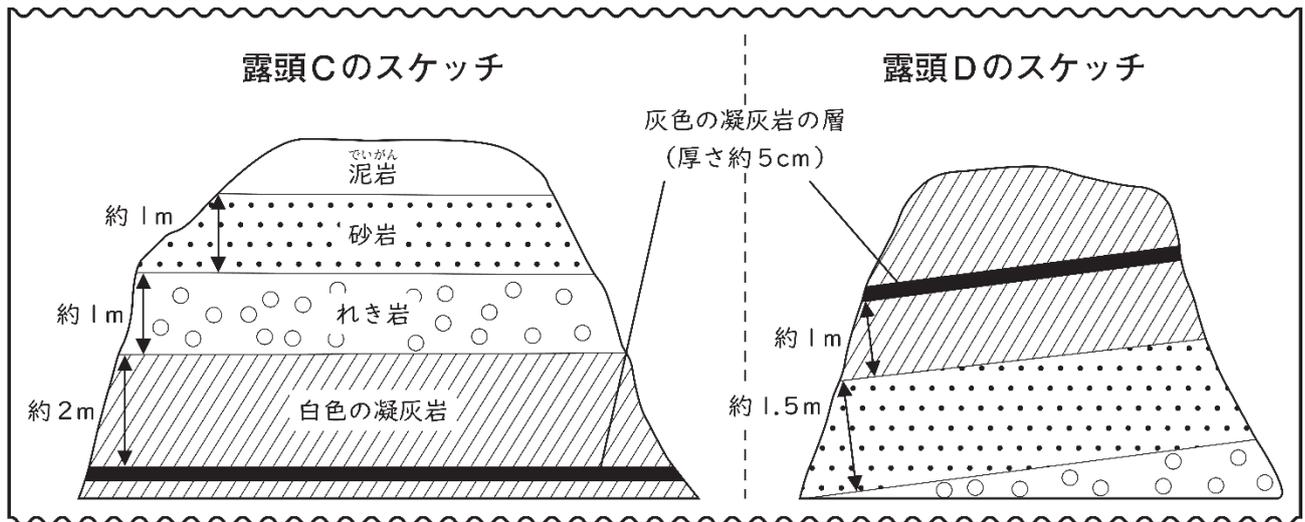
青木さんと赤井さんは、博物館の観察会に参加して、大地の成り立ちと変化について科学的に探究しました。

ルートマップと露頭のスケッチから地層の傾きを考える場面

学芸員: この地域には、堆積岩が分布しています。地層の傾きについて考えましょう。



フィールドノートの一部



赤井さん：露頭をルートマップの矢印の向きから観察して、スケッチしました。

観察した地層には、特徴的な灰色の凝灰岩の層がありました。

青木さん：露頭Cと露頭Dの位置関係とスケッチから、この地層は に下がるように傾いていると考えられます。

(3) に当てはまる適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア 北から南 イ 南から北 ウ 西から東 エ 東から西

(正答) **ア**

5 児童生徒質問紙調査の結果からみた子どもの姿

子どもたちの学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問の結果です。

令和4年度 児童生徒質問紙 (県民運動関係)

項目	小学校														
	市					県					県との比較				
	R4	R3	R2	R1	H30	R4	R3	R2	R1	H30	R4	R3	R2	R1	H30
1 子どもたちの基本的生活習慣の状況(朝食を毎朝食べている・毎日、同じくらいの時刻に起床就寝している)	85.2	87.4		86.3	82.4	88.5	88.5		89.2	86.0	-3.3	-1.1		-2.9	-3.6
2 子どもたちの自尊感情の状況(物事を最後までやり遂げる・難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する・自分には良いところがある等)	77.2	82.2		84.9	71.7	79.5	80.2		84.7	83.4	-2.4	2.0		0.2	-11.7
3 将来の夢や目標を持っている	78.9	88.3		74.4	82.7	78.3	79.7		82.6	83.7	0.6	8.6		-8.2	-1.0
4 平日の学習時間【1時間以上】	53.7	46.6		49.5	45.7	56.5	59.6		64.2	62.7	-2.8	-13.0		-14.7	-17.0
5 授業時間以外に読書をする【10分以上】	47.3	53.5		63.2	59.8	56.8	58.6		63.9	64.4	-9.5	-5.1		-0.7	-4.6
6 家の人と学校での出来事について話をする				67.5	75.6				76.6	80.0				-9.1	-4.4
7 家で、自分で計画を立てて勉強している	57.9	65.0		72.7	63.0	69.5	72.8		71.7	67.6	-11.6	-7.8		1.0	-4.6
8 学校に行くのは楽しい	86.3	81.6		86.4		85.0	83.2		85.5		1.3	-1.6		0.9	
9 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか	86.3			80.3	76.4	87.0			87.8	86.4	-0.7			-7.5	-10.0
10 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくださいませんか				89.7					94.2					-4.5	
11 地域の行事の参加	54.7	49.5		59.9	43.3	58.3	65.7		74.1	66.7	-3.6	-16.2		-14.2	-23.4
12 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	47.3	50.7		50.4		50.2	52.4		52.5		-2.9	-1.7		-2.1	
13 子どもたちの規範意識(いじめはどんな理由があってもいけないこと、人の役に立つ人間になりたい、困っている人を助けている等)	91.3	97.2		92.7	94.0	94.0	96.6		95.0	93.7	-2.7	0.6		-2.3	0.3
14 国語の授業の内容はよくわかる	83.1	76.7		83.7		84.3	84.9		86.3		-1.2	-8.2		-2.6	
15 算数(数学)の授業の内容はよくわかる	76.8	87.4		77.8	76.4	82.3	87.0		85.7	85.5	-5.5	0.4		-7.9	-9.1
16 理科の授業の内容はよくわかる	93.7					87.1					6.6				
17 授業で学習したことは、社会に出たとき役立つ	83.9	93.3		89.3	79.5	88.2	92.6		92.5	82.2	-4.3	0.7		-3.2	-2.7

令和4年度 児童生徒質問紙 (県民運動関係)

項目		中学校														
		市					県					県との比較				
		R4	R3	R2	R1	H30	R4	R3	R2	R1	H30	R4	R3	R2	R1	H30
1	子どもたちの基本的生活習慣の状況(朝食を毎朝食べている・毎日、同じくらいの時刻に起床就寝している)	87.0	86.8		90.0	90.0	88.4	88.1		87.5	85.2	-1.3	-1.4		2.5	4.8
2	子どもたちの自尊感情の状況(物事を最後までやり遂げる・難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する・自分には良いところがある等)	79.7	86.2		92.4	84.3	78.6	77.3		80.0	79.9	1.1	8.9		12.4	4.4
3	将来の夢や目標を持っている	60.2	75.0		79.8	76.9	68.6	70.3		69.5	72.5	-8.4	4.7		10.3	4.4
4	平日の学習時間【1時間以上】	71.7	70.7		50.9	73.5	68.5	73.3		67.5	67.5	3.2	-2.6		-16.6	6.0
5	授業時間以外に読書をする【10分以上】	42.4	49.2		55.3	57.0	44.1	46.1		45.5	49.6	-1.7	3.1		9.8	7.4
6	家の人と学校での出来事について話をする				86.9	72.7				76.0	75.4				10.9	-2.7
7	家で、自分で計画を立てて勉強している	58.4	65.6		66.7	62.9	62.1	65.0		52.6	54.8	-3.7	0.6		14.1	8.1
8	学校に行くのは楽しい	84.1	89.7		91.2		84.3	83.0		83.8		-0.2	6.7		7.4	
9	先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか	87.6			94.7	87.6	88.7			83.1	84.2	-1.1			11.6	3.4
10	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくださいますか				94.7					87.5					7.2	
11	地域の行事の参加	54.0	56.0		56.1	57.0	46.8	52.5		56.8	49.6	7.2	3.5		-0.7	7.4
12	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	49.6	57.7		61.4		43.4	46.9		40.2		6.2	10.8		21.2	
13	子どもたちの規範意識(いじめはどんな理由があってもいけないこと、人の役に立つ人間になりたい、困っている人を助けている等)	94.4	98.3		99.4	98.1	94.2	96.0		95.7	95.9	0.2	2.3		3.7	2.2
14	国語の授業の内容はよくわかる	82.3	92.2		79.9		84.5	83.7		81.1		-2.2	8.5		-1.2	
15	算数(数学)の授業の内容はよくわかる	70.8	79.3		83.3	86.8	82.4	77.5		79.1	75.0	-11.6	1.8		4.2	11.8
16	理科の授業の内容はよくわかる	74.3					78.4					-4.1				
17	授業で学習したことは、社会に出たとき役立つ	84.4	87.1		90.0	74.0	78.0	83.5		84.9	66.6	6.4	3.6		5.1	7.4

(1) 豊かな人間性にかかわること

- ◇ 子どもたちの自尊感情の状況（物事を最後までやり遂げる・難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する・自分には良いところがある等）は、中学校では、全国・県の平均を上回っています。
- ◇◆ 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合は、小学校では県の平均を上回っていますが、小・中学校ともR3年度より低くなっています。
- ◇◆ 子どもたちの規範意識（いじめはどんなことがあってもよくないことだと思う、人の役に立つ人間になりたい等）は、中学校では、全国・県の平均を上回っていますが、小・中学校ともR3年度より低くなっています。
- ◇ 地域の行事の参加については、小学校では県の平均を下回っていますが、R3年度より大幅に改善が見られます。中学校では、全国・県の平均を上回っています。
- ◇◆ 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童生徒の割合は、中学校では全国・県の平均を上回っていますが、小・中学校ともR3年度より低くなっています。

(2) 家庭での生活にかかわること

- ◆ 「毎日の朝食摂取や規則正しい起床就寝」については、小・中学校とも全国・県の平均を下回っております。

(3) 学習習慣に関すること

- ◇ 「平日の学習（それぞれ1時間以上）」については、小学校では全国・県の平均を下回っていますが、大幅に改善が見られます。中学校では、全国・県の平均を上回っており、改善傾向が見られます。
- ◆ 「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校とも全国・県の平均を下回っており、改善が必要です。
- ◆ 「授業時間以外に読書をする（10分以上）」については、小・中学校とも全国・県の平均を下回っており、下降傾向が見られます。
- ◇ 「授業で学習したことは、社会に出たとき役立つと思う」と回答した生徒の割合は、全国・県の平均を上回っています。

6 学校質問紙調査の結果から見えてきた傾向

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問の結果です。

- ◇ 授業研究や事例研究など実践的な研修が行われています。
- ◇ 学校運営の状況や課題を全職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいます。
- ◆ 小中連携に関しては「研究授業を行うなど、合同して研修を行ったか」「教育課程に関する共通の取組」「学調の分析結果の共有」については課題が残り、今後ますます連携を進めていく必要があります。
- ◆ コロナ禍の影響もあると考えられますが、「個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している」結果に課題が見られます。

7 市教育委員会及び学校における今後の取組

(1) 学力向上推進協議会の推進と家庭・地域との連携

- 時間を決めて学習や読書に取り組むことができるよう、家庭の理解と協力を得て、取組を推進します。
- 規則正しい生活習慣づくりや携帯電話やゲーム、インターネットの適正な使用についてのルールづくりについては、引き続き、家庭・地域・関係機関と連携しながら取り組みます。

(2) 学力向上推進委員会の開催

各学校の授業改善に資するよう、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックの結果を分析し、市全体としての成果と課題について共通理解を図るとともに、紀州教育支援事務所と連携し、学力向上の方策について検討します。また、各校の実践交流を行い、教職員の授業力、実践力の向上を図ります。

(3) 継続した授業改善の推進

- 「主体的で対話的で深い学び」の充実に向けて、指導方法の改善を推進します。
- 「めあて」*と「振り返り」を位置づけた授業を展開します。
「めあて」*: 単元や授業の目標やねらいを示したもの。「何ができる(わかる)ようになるのか」「何についてどのようになればよいのか」等、子どもたちが授業でめざすゴールの姿をイメージすることができるよう、学習の目的や方向性を示し、見通しを子どもたちにもたせるためのもの。
- 全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの結果分析を活用して、自校の強み・弱みを把握し、授業改善に役立てていきます。
- 児童生徒が意欲的に学習課題に取り組むことができるようICTの効果的な活用を図ります。

(4) 校内研修の充実

- 各校の課題や学習指導要領の内容を踏まえた授業改善に向けて、校内研修の充実を図ります。
- 各校の要請に基づき、紀州教育支援事務所と連携して、校内研修の指導・支援を図ります。

(5) 読書活動の推進

- 読書に親しんだり、授業で活用したりする活動を推進し、子どもたちが知識を広げ心豊かに成長するよう学校図書館活動の充実と活性化に努めます。
- 図書館ボランティアを活用し学校図書館の環境整備と利用拡大を図ります。
- 図書館司書の配置（拠点校）を推進します。

(6) 家庭学習の充実

- 家庭学習の課題の工夫に努めます。
- 家庭学習の方法について、子どもの実態を踏まえ具体的に指導します。
- 家庭学習の時間を確保し、学習習慣を定着させるために、家庭との連携を図ります。
- 三重県教育委員会が作成している学-Vivaセットやワークシート等を活用します。

(7) きめ細かな指導体制の充実

学びのサポーターの配置を継続し、個に応じた指導の充実を図ります。

(8) ふるさと教育支援事業の充実

子どもたちがふるさと尾鷲に愛着を持ち続けるため、自然、歴史、産業、伝統文化に関わる様々な体験活動を通して、その郷土愛や自尊心を育む教育の充実を図ります。